

【1】「学習指導要領解説（平成29年7月）特別の教科 道徳編」に記載されている道徳教育と「特別の教科 道徳」（道徳科）について、次の問いに答えよ。

(1) 道徳教育の目標について、次の（ ）に入る言葉を①～⑤から選び、番号で答えよ。

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、自己の（*人間としての）生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる（ ）を養うことを目標とする。

（*は、中学校、特別支援学校中学部に追加）

① 系統性 ② 人間性 ③ 社会性 ④ 道徳性 ⑤ 規則性

1

(2) 道徳科の指導の基本方針について、誤りのあるものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 教師と児童生徒、児童生徒相互の信頼関係を基盤におく。
- ② 道徳教育推進教師を中心とした指導体制の充実を図る。
- ③ 児童生徒の発達や個に応じた指導を工夫する。
- ④ 道徳科の特質を理解した上で行う。
- ⑤ 道徳科の授業は、校長や教頭、他の教師との協力的指導のもと、担任のみで行うものである。

2

(3) 道徳科の評価において留意すべきことの中で、誤りのあるものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 児童生徒がいかに成長したかを積極的に受け止め、認め、励ます評価を行う。
- ② 他の児童生徒と比較し、文章記述による評価を行う。
- ③ 児童生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握する。
- ④ 道徳科の評価は、入学者選抜の合否判定に活用しない。
- ⑤ 授業者自らが授業中のメモ、板書の写真、録音、録画などによって、学習指導過程や指導方法を振り返ることも大切である。

3

Copyright © 2017 by Shogakukan Inc. All rights reserved. This book is published by Shogakukan Inc. under license from the Japanese Copyright Commission. No part of this book may be reproduced without the written permission of Shogakukan Inc.

Copyright © 2017 by Shogakukan Inc. All rights reserved. This book is published by Shogakukan Inc. under license from the Japanese Copyright Commission. No part of this book may be reproduced without the written permission of Shogakukan Inc.

Copyright © 2017 by Shogakukan Inc. All rights reserved. This book is published by Shogakukan Inc. under license from the Japanese Copyright Commission. No part of this book may be reproduced without the written permission of Shogakukan Inc.

**著作権保護の観点により、
掲載いたしません。**

Copyright © 2017 by Shogakukan Inc. All rights reserved. This book is published by Shogakukan Inc. under license from the Japanese Copyright Commission. No part of this book may be reproduced without the written permission of Shogakukan Inc.

Copyright © 2017 by Shogakukan Inc. All rights reserved. This book is published by Shogakukan Inc. under license from the Japanese Copyright Commission. No part of this book may be reproduced without the written permission of Shogakukan Inc.

Copyright © 2017 by Shogakukan Inc. All rights reserved. This book is published by Shogakukan Inc. under license from the Japanese Copyright Commission. No part of this book may be reproduced without the written permission of Shogakukan Inc.

Copyright © 2017 by Shogakukan Inc. All rights reserved. This book is published by Shogakukan Inc. under license from the Japanese Copyright Commission. No part of this book may be reproduced without the written permission of Shogakukan Inc.

Copyright © 2017 by Shogakukan Inc. All rights reserved. This book is published by Shogakukan Inc. under license from the Japanese Copyright Commission. No part of this book may be reproduced without the written permission of Shogakukan Inc.

Copyright © 2017 by Shogakukan Inc. All rights reserved. This book is published by Shogakukan Inc. under license from the Japanese Copyright Commission. No part of this book may be reproduced without the written permission of Shogakukan Inc.

Copyright © 2017 by Shogakukan Inc. All rights reserved. This book is published by Shogakukan Inc. under license from the Japanese Copyright Commission. No part of this book may be reproduced without the written permission of Shogakukan Inc.

一 傍線部 a、d、e、f のカタカナを漢字に直せ。(解答用紙に記入せよ。)

二 傍線部 b、c、g、h の漢字の読みをひらがなで書け。(解答用紙に記入せよ。)

三 傍線部①「外来の制度文物は貴重な資源です。」とあるが、このように言える理由として最も適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 外国の文化と日本の文化を融合し、発展することが求められたから。
- ② 大陸の諸制度を取り入れることが、近代化への近道であると信じられたから。
- ③ 日本は辺境の地にあり、日本人は資源の乏しい環境で暮らさざるを得ないから。
- ④ 外国由来の制度や文化は、開放的な性質を持つ日本人に歓迎されたから。
- ⑤ 中華文明圏の文化資源には、有用性や用途が認められたから。

4

四 文中の空欄

I

 ～

III

 に入る語として適切なものを①～⑤からそれぞれ選び、番号で答えよ。

- ① ですから ② あるいは ③ すなわち ④ けれども ⑤ ただちに

I	5	II	6	III	7
---	---	----	---	-----	---

五 《A》《B》《C》に入る言葉の組合せとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 《A》思慮 《B》計画 《C》縁 ② 《A》関係 《B》縁 《C》計画
- ③ 《A》計画 《B》関係 《C》思慮 ④ 《A》関係 《B》計画 《C》縁
- ⑤ 《A》計画 《B》縁 《C》関係

8

六 《D》に入る慣用表現として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 激を飛ばし ② 火に油を注ぎ ③ 冷や水を浴びせ
- ④ 寸鉄人を刺し ⑤ 馬脚を現し

9

七 《E》に入る最も適切な語を

前半B

 の文章中より七字で抜き出して答えよ。(解答用紙に記入せよ。)

八

前半C

 の文章から次の一文が欠落している。入るべき部分の直前の五字を抜き出せ。(句読点を含む。)(解答用紙に記入せよ。)

先駆的にその有用性を知っていたという言い方ではこの行動は説明がつきません。

九

前半C

 の文章中には、明らかに文意とは逆になっている二字の熟語がある。その熟語を抜き出して正しい表現に直せ。(解答用紙に記入せよ。)

十 筆者は「後半」の文章に題を付けている。その題として適切なるものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 「学ぶ力」の劣化
- ② 教育政策の転換の根拠
- ③ 学ぶことで得られるもの
- ④ 欧米列強に近づくために
- ⑤ 意味や有用性の数値化

10

十一 傍線部②「深刻な勘違い」とあるが、このことによつて国にもたらされるものは何か。傍線より後の文章から十字で抜き出して答えよ。(解答用紙に記入せよ。)

十二 傍線部③「値札がついていないもの」とあるが、本文中の言葉でこれに該当するものとして適切なるものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 受け容れがたいもの、受け容れることによつて私たちが損なわれるもの
- ② そこらにあるありあわせの道具とありあわせの材料
- ③ 「いつか何かの役に立つかもしれない」と思つて拾つておいたもの
- ④ その用途や実用性がわからないもの
- ⑤ 数値的・外形的なベネフィットに反応するもの

11

十三 本文の内容と合致するものとして適切なるものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① レヴィストロースによつて、資源的・道具的に閉鎖されている「未開人」に文明人だけが所有する「知」が紹介され、「未開人」たちにパラダイムの転換を促した。
- ② ブリコールたちは「ありもの」の有用性を先駆的に理解する力を効率的に養うために、あえて無計画に道具や資材を収集するという手段を用いた。
- ③ 大陸など資源が豊かな環境下においては、特定の企図に応じて資源や道具を恣意的に収集・開発することができ、そのことが社会秩序の構築に寄与した。
- ④ 子どもたちに報酬の約束を明示することで、強固なインセンティブが形成されることは自明の理であり、教育関係者はそのことを肝に銘じて教育活動に取り組むべきだ。
- ⑤ 現代日本においては、学ぶ価値があり実用性が高いとされるものだけを学ぶべきだという思考が蔓延しており、それが「学ぶ力」の劣化や喪失に繋がっている。

12

次頁へ続きます

【3】 次の文章を読んで後の問いに答えよ。(設問の都合で一部表記を改めた。)

大和の國に男女ありけり。年月かぎりなく思ひてすみけるを、いかがしけむ、(他の)女をえてけり。猶もあらず、この家に率てきて、壁を隔てて住みて、わが方にはさらによりこす。(女は)いと愛しとおもへく **A**、**B**言ひも妬まず。**C**の夜の**D**に、目をさましてきけば、鹿なむ鳴き **E**。物もいはで聞きけり。壁をべだてたる男、「聞き給ふや、西こそ」といひければ、(もとの妻)「なにごと」といらくければ、(男)「この鹿のなくは聞きたうぶや」といひければ、(もとの妻)「ぞ聞き侍り」といらくけり。男、「さて、それをはいかが聞きたまふ」といひければ、女ふといらくけり。

我もしかなきてぞ人に恋ひられし今こそよそに聲をのみきけ

とよみたりければ、かぎりなくめで、この今の女をば送りて、もとのごとをなむ住みわたり **E**。

(注) 1 猶もあらず・・・それだけではなくて。

2 西こそ・・・西隣さんよ。「こそ」は呼び掛けの語。

3 さ・・・鹿が鳴いているなど。

4 送りて・・・送り帰して。

一 傍線部ア「いかがしけむ」の説明として誤ったものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① サ変動詞の連用形が含まれている。
- ② 「いかが」は「いかにか」が転じた副詞である。
- ③ 過去の助動詞「き」が含まれている。
- ④ 「どうしたのだろうか」という現代語訳になる。
- ⑤ 過去の推量の助動詞が含まれている。

13

二 傍線部イ「よりこす」の主語を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 男女 ② 男 ③ 他の女 ④ 元の妻の女 ⑤ 鹿

14

三 空欄Aに入る適切な助詞はどれか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① とも ② ば ③ で ④ と ⑤ こそ

15

四 傍線部ウ「**B**言ひも妬まず」が、「全く文句も言わず、癪に障るという態度も取らない」という現代語訳になるようにするには、空欄Bにどの副詞を入れたらよいか。適切な語を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① いまだ ② さらに ③ として ④ よも ⑤ をををを

16

五 空欄 **C**、**D** に入る言葉の組合せとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① **C** 山里、**D** 静かなる ② **C** 春、**D** 夢ばかりなる
③ **C** 冬、**D** 寒き ④ **C** 秋、**D** 長き
⑤ **C** 山、**D** いと暗き

17

六 空欄 **E** には同じ語が入るが、適語はどれか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ぬ ② つる ③ ける ④ ぬる ⑤ し

18

七 二重傍線部 a「え」、b「率」、d「めで」の活用の種類の組合せとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① a ア行下二段活用、b ヤ行上一段活用、d ダ行四段活用
② a ア行四段活用、b ア行上一段活用、d ダ行下二段活用
③ a ヤ行下二段活用、b ワ行上一段活用、d ダ行下一段活用
④ a ヤ行四段活用、b ヤ行上一段活用、d ダ行四段活用
⑤ a ア行下二段活用、b ワ行上一段活用、d ダ行下二段活用

19

八 二重傍線部 c の「られ」と文法的な意味が同じ助動詞を含むものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ありがたきもの。男にはめらるる婿。
② 知らぬ人の中にうち臥して、つゆまどろまれず。
③ あはれに思ひ出でられなどして、
④ かの大納言、いづれの船にか乗らるべき。
⑤ 集まれる人ども、一度に「は」と笑ひたるまぎれに、

20

九 次は、本文を教材として扱った授業中に班で話し合った会話である。本文と本文中の和歌の解釈として誤りがあるものはどれか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 生徒 A つらい気持ちをこらえる女が、うらみを訴えるでもなく、歌で夫に昔の愛情を思い出させるなんて、和歌ってすごいな。
② 生徒 B この歌は、今では私はあなたの声をよそに聞くだけだけれど、かつてはあなたに思っていただいたいものです、という内容だよな。
③ 生徒 C 和歌の中の「我」は元からの妻の女で、「人」は夫である男を指しているね。「恋ひられし」の「し」は、係助詞「ぞ」の結びで、三句切れの歌だね。
④ 生徒 D 「しか」は「然か」と「鹿」の掛詞になっているよ。「それをばいかが聞きたまふ」という夫の問いかけへの見事な返答になっている歌だよな。
⑤ 生徒 C 私があなたを慕って泣く声を、あなたはせめて聞いてくださいよ、と心変わりした夫を責める気持ちが詠まれているね。

21

十 本文中の敬語の説明として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 男が元からの妻の女に尊敬の補助動詞を用いているのに対し、元からの妻の女は、夫である男に一切敬語を用いていない。
- ② ハ行下二段活用の「給ふ」が用いられている箇所がある。
- ③ 男と元からの妻の女の会話の中で、男は相手に尊敬語を、女は相手に丁寧語を用いており、互いに敬意を払っている。
- ④ 作者から読者に敬意を払う丁寧語が用いられている箇所がある。
- ⑤ 元からの妻の女の動作に謙讓語を用いた箇所があり、男の方が女より身分が高いことを示している。

22

十一 本文の出典は『天和物語』である。次の小問(1)・(2)の答えの組合せとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- (1) 『天和物語』と同じジャンルの文学作品を挙げよ。
- (2) 『天和物語』が成立するよりも前に成立した作品を挙げよ。

- | | | |
|---|---------|---------|
| ① | 『伊勢物語』 | 『金槐和歌集』 |
| ② | 『平家物語』 | 『竹取物語』 |
| ③ | 『今昔物語集』 | 『日本霊異記』 |
| ④ | 『平中物語』 | 『古今和歌集』 |
| ⑤ | 『天鏡』 | 『栄花物語』 |

23

次頁へ続きます

【4】 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。(設問の都合で一部表記を改めた。)

華^ま歆^{きん}・王^ま朗^{らう}俱^あ乗^り船^{ふね}避^く難^{がた}有^り一^{ひと}人^{ひと}欲^ほ二^に依^つ附^く一^{ひと}歆^{きん}
 輒^{すなは}難^は之^の朗^{らう}曰^く幸^ひ尚^ほ寛^{ゆる}何^{なに}為^な不^た可^{から}後^{のち}賊^{あつ}追^お至^る王^ま
 欲^ほ捨^す所^{ところ}攜^{たづ}人^{ひと}歆^{きん}曰^く本^{もと}所^よ以^て疑^う正^{ただ}為^な此^{こゝ}耳^{なり}
 既^す已^に納^め其^の自^{みづか}託^か寧^な可^{から}以^て急^{いそ}相^あ棄^る邪^{よこしま}遂^{すなは}攜^{たづ}拯^{たす}如^{ごと}
 初^{はじ}世^よ以^て此^{こゝ}定^ま華^ま王^ま之^の優^よ劣^{あつ}

(『世説新語』明治書院「新釈漢文体系」より)

- (注) 1 華歆……後漢末期から三国時代の政治家。字は子魚。
 2 王朗……後漢末期から三国時代の政治家。字は景興。
 3 依附……頼んで連れて行ってもらい、一緒に逃げる。
 4 納其自託……その頼みを受け入れる。
 5 攜拯……道連れにして一緒に逃げる。

一 二重傍線部 A ～ D の漢字の読みを、解答欄に合わせて、現代仮名遣いのひらがなで書け。(解答用紙に記入せよ。)

二 傍線部 a 「之」の指す人物を表す表現を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 華歆 ② 王朗 ③ 一人 ④ 賊 ⑤ 世

24

三 傍線部 b について、後の問いに答えよ。

(1) 書き下し文に改めよ。(解答用紙に記入せよ。)

(2) 訳として最も適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① どうしてだめなのか、よいではないか
 ② なぜだめといえるのか
 ③ 何のためにだめとするのか
 ④ いずれにせよだめだ
 ⑤ どうしてもだめなのだ

25

四 傍線部cについて、「本疑ひし所以は、正に此が為のみ（もとためらひしゆゑんは、まさにこれがためのみ）」となるよう、解答欄に返り点を施せ。（解答用紙に記入せよ。）

五 傍線部dを、すべて現代仮名遣いのひらがなで書き下したものと正しいものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① なんぞかけんきゆうをもつてそうすつやと。
- ② なんぞきゆうをもつてそうすつべかりけんかと。
- ③ なんぞきゆうをもつてあいすつべけんやと。
- ④ むしんぞべけんきゆうをもつてあいすつかと。
- ⑤ なんぞきゆうをもつてあいすつべかりけんかと。

26

六 傍線部eについて、どのような「優劣」をつけたと考えられるか。文章全体を踏まえて、最も適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 連れて行ってほしいと頼んだ男を受け入れた王朗のほうが優れているとした。
- ② 連れて行ってほしいと頼んだ男を完全に拒んだ華歆のほうが優れているとした。
- ③ 賊に襲われた際、道連れにした男を見捨てる判断をした王朗の臨機応変さを優れているとした。
- ④ 賊に襲われた際、道連れにした男を最後まで見捨てなかった華歆の態度を優れているとした。
- ⑤ 二人で相談して、一旦は男を道連れにし、襲われた後は機を見て逃がした華歆と王朗の判断の素晴らしさに優劣はつけられないとした。

27

【5】 次の問いに答えよ。

一 次の傍線部のカタカナに相当する漢字を含むものを、各群の①～⑤から選び、番号で答えよ。

ア 準備タイセイを整える

- ① 商品のタイセイを調査する ② 彼は作家としてタイセイした
③ 経営のタイセイを立て直す ④ 幕府によるタイセイ奉還
⑤ 得意なタイセイに持ち込む

28

イ チームのヨウシとなる

- ① 所定のヨウシにまとめる ② 講演のヨウシをまとめる
③ ヨウシに跡を継がせる ④ カンヨウの精神を大切にする
⑤ ヨウシの質量が判明した

29

二 ア～ウの語句の意味として適切なものを、各群の①～⑤から選び、番号で答えよ。

ア たしなめる

- ① 相手の言動をおだやかに注意する ② 苦しめたり悩ませたりする
③ ふだんから心がけておく ④ 芸事などを好んで身につける
⑤ 自分の行いに気をつける

30

イ 足が出る

- ① 人の仕事の邪魔をする ② 予算を超えた支出となる
③ 発見されるきっかけとなる ④ 予定より遅くへ行く
⑤ 歩き疲れた様子

31

ウ 胸がすく

- ① 歓喜 ② 空虚 ③ 爽快 ④ 後悔 ⑤ 好意

32

三 「折り合いをつける」を用いた一文を書け。(解答用紙に記入せよ。)

ただし、場面は学校とし、「折り合いをつける」の主語を明らかにしたうえで、「折り合いをつける」内容が分かるように書くこと。また、「つける」は適宜活用させてよい。

四 中学校の書写の授業では行書を指導する。

(1) 文字を構成している点画の一つ一つが、気持ちのうえで、また形のうえでもつながりを持っていることを何というか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 草書 ② 調和 ③ 仮名 ④ 送筆 ⑤ 筆脈

33

(2) 次の1～4は行書の特徴をまとめたものである。空欄(ア)(イ)に該当する言葉を①～⑤から選び、番号で答えよ。

1	点画の連続
2	点画の(ア)
3	(イ)の変化
4	点画の方向や形の変化

- ① 筆圧 ② 穂先 ③ 筆順 ④ 省略 ⑤ 単純

ア	34	イ	35
---	----	---	----

※ 参考「楷書体」(上)と「行書体」(下)

著作権保護の観点により、
掲載いたしません。

五 (1) 次は、中学校学習指導要領解説(平成二十九年七月)国語編における学年の目標のうち、第三学年「思考力、判断力、表現力等」の目標である。

空欄A～Cに入る言葉の組合せとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

《 A 》考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、《 B 》における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを《 C 》ことができるようにする。

- ① A 論理的に B 社会生活 C 確かなものにする
 ② A 筋道立てて B 社会生活 C 広げたり深めたりする
 ③ A 論理的に B 日常生活 C 確かなものにする
 ④ A 筋道立てて B 日常生活 C 確かなものにする
 ⑤ A 論理的に B 社会生活 C 広げたり深めたりする

36

(2) 高等学校では、学習指導要領（平成三十年三月告示）が全面実施され、国語科では科目が再編される。再編後の必須二科目の組合せとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

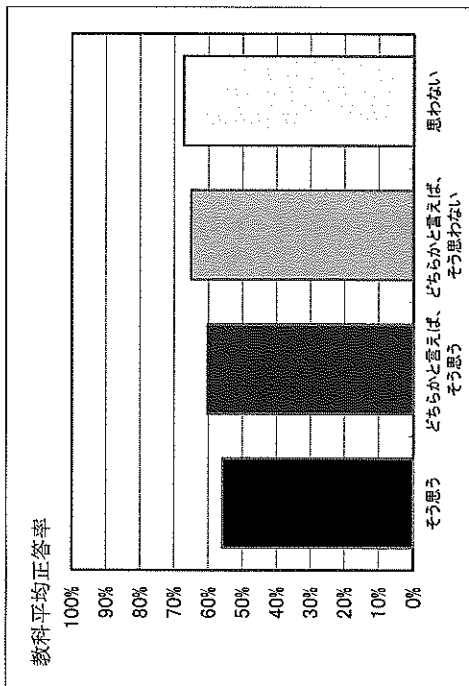
- ① 論理国語・言語文化
- ② 国語表現・国語総合
- ③ 言語文化・現代の国語
- ④ 文学国語・現代の国語
- ⑤ 古典探究・国語総合

六 次のグラフは「平成三十年度神戸市学力定着度調査 生徒質問紙」（中学二年生）の結果（部分）と、調査教科（国語・数学・理科）全体の平均正答率との関係を表したものである。質問1・2のグラフについて、

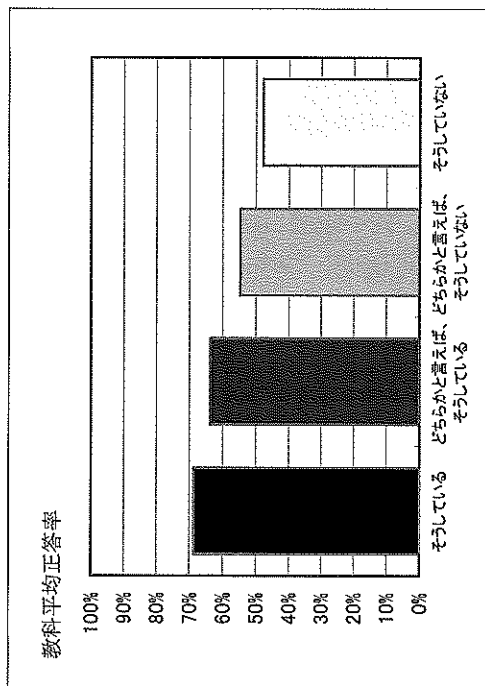
- (1) 授業中の活動・生徒の意識・平均正答率にはどのような関係があると推測されるか、簡潔に述べよ。（解答用紙に記入せよ。）
- (2) (1)を踏まえて、あなたの国語科の授業では、具体的にどのような学習活動を行いたいか述べよ。（解答用紙に記入せよ。）

質問1 学校の授業などで、自分の考えをほかの人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思う。
 質問2 授業中に文章や資料を読んで、自分の考えを話したり、書いたりしている。

【質問1のグラフ】



【質問2のグラフ】



受験番号

② 中高 国語科 解答 用 紙

計

[2]

一

a		d		e		f	
---	--	---	--	---	--	---	--

二

b		c		g		h	
---	--	---	--	---	--	---	--

七

--	--	--	--	--	--	--	--

八

--	--	--	--	--

九

(誤)		(正)	
-----	--	-----	--

十

--	--	--	--	--	--	--	--

2小計

[4]

一

A		(に)	B		(に)	C		(に)	D		(に)
---	--	-----	---	--	-----	---	--	-----	---	--	-----

三

(1)		(。)
-----	--	-----

四

(2)	本所以疑、正為此耳	(。)
-----	-----------	-----

4小計

[5]

三

--

六

(2)	
(1)	

5小計

